

講談社社友会入会のご案内



あなたの経験・能力・時間・意欲を社友会のため、そしてご自身のために活かしてみませんか。社友会は、会社や組合組織の延長のような組織から脱皮し進化しつつあります。それはPlus-PTミニイベントやサークル活動(現在/散策・ゴルフ・麻雀・カラオケ・囲碁・吹矢の会など。新規サークル/お茶・俳句・ボウリング・グルメの会など)、会報やホームページオープンによる会員同士のフラットな関係での情報交換や元気交流会へと。また、社友会では、健康や個人財務などの心配事には、専門家による講演会や相談窓口の紹介なども行っています。関われば関わるほど、面白いこと、楽しいこと、役に立つことなど何かの可能性がきっと見つかるはずです。ぜひ、一緒に見つけてみませんか!!



～グルメとカルチャー 元気交流会 Vol.1～
シンガポール飲茶と朗読&落語を楽しむ会



～グルメとカルチャー 元気交流会 Vol.2～
カフェ料理と、体の不調を整える薬膳入門



～グルメとカルチャー 元気交流会 Vol.3～
スペイン料理とテーブルマジックを楽しむ会

会員からのメッセージ

ALL 講談社社友会をめぞそう。講談社社友会 会長 江口拓
社友会の理想は「全員野球」です。「9人野球」では、レギュラー選手だけが活躍し、他の人は傍観者に過ぎなくなってしまいます。これでは、組織は活性化しません。幸い講談社には「渾然一体」という全員野球を推奨する(?)社があります。さまざまな考え方、さまざまな経験をお持ちの方が、世代を超えて、「いつでも・どこでも・だれでも」参加できる機会と組織をつくることできれば、持続可能性は格段に高まるはず。キャッチフレーズは、当然「おもしろくて、ためになる会をつくろう!」です。皆さまには、その一翼を担っていただきたいと、心より願っています。

リタイア後のストレッチとして 重村博文

コロナ禍の中、リタイアした自分は人と会ったり自由に外食することを制限されるなどの環境下で自分の「心の納め処」に迷っていた。その頃野澤さんから社友会参加を強く薦められ、再び組織に参加するのめどうかと思いつつも、昨年初めて総会に顔を出してみた。先輩諸氏との話の中で意外と明るく積極的な考え方に会い、いくつかのヒントを得ることができた。リタイア後の「心と体のストレッチ」の一つに加えてみてはいかがでしょうか。

途中退社組でも、たまらなく入りたくなって いうせいこう

かれこれ37年前に会社を辞めた者ですが、それからしばらくしてから同期会がちょくちょく行われるようになり、参加してまいりました。その同期会には、入社時の人事課長である江口拓さんも常にいらっしゃっており、それが今年になって急に「おい、きみも社友会に入れるんだぞ」とおっしゃったのです。たまらなく入ってみたいくなりました。

社友会が変わってゆく兆し 仙波志郎

2011年、写真部でよくしていただいた大塚徹雄さんが亡くなり、夢枕に立って「あなたも社友会に入った方がいいよ」と言われてすぐに入会。大塚先輩がやっていたように写真の撮影などで手伝うようになった。社友会は、現役時代にはよく知らなかった人と知り合うきっかけもできて面白い。また、PLUS-PTのミニイベントは、今までになくリラックスでき、和気あいあいとした雰囲気。社友会が変わってゆく兆しを感じる。次のイベントには何が出来るのか?という期待も湧く。安心して、昔話も今の話もできるのが、社友会が一番のよさだと思う。そういう意味では、小さな集まりや小さなイベントが、良い機会になるのかも知れない。

心の鎧を脱ぎ捨てて♡♡ 堀山和子

現役時代は強面だったり、バリバリ仕事人で近寄り難かった先輩方が意外にフランクで、率先して動いているのに瞠目。会社人を卒業することは、心の鎧を脱ぎ捨てて「素」を楽しむことなのかもと思ったことでした。最後の仕事場が社友会事務局のお隣の縁で退職後にブック大賞の選考から参加、発言が多すぎた(声が大きすぎた?)せいか、幹事にリクルートされ、今は会員にお誘いする強化メンバーにも。旧友や仕事での縁、いろいろありますが、講談社で培った人の輪も大切にしないで、そんな気持ちにさせてくれるのが、講談社社友会かなあ、と思う日常です。それぞれの退職後の情報交換、交歓の場として、さらに大きな輪の場にできたらと思います。

やっとこ入会!! 渡辺裕己子

社友会サークル活動のゴルフ会には参加していたものの未入会でしたが、二度目の定年を迎えたのを機に、やっと正式入会。元気澆刺、企画立案→実行できるツワモノお姉様達の楽しいイベントに期待大、です!グルメとエンタメがセットされた会には、二度ほど楽しく参加させていただきました。ゴルフだけでなく、この先永く続けられるスポーツ(ボウリング、モルック)にもトライしてみようと思案中です!

思いがけない再会も 麻生典江

入会前から KKG ゴルフ会には参加しており、入会して間もない私なのですが、社友会では PLUS-PT「グルメとカルチャー元気交流会」という新しい交流の場ができ、その第二弾では、元社員で国際薬膳師の古川ゆかさん講師による「薬膳入門」が昔の葉カフェで行われたので参加しました。古川さんとは、彼女が退職されてから中々会うことができなかったの、思いがけない再会とグルメ&カルチャーとなり、とても楽しい時間になりました。そんなこともある講談社社友会です。

入会資格

講談社に社員として在籍された方なら、どなたでも、いつからでもご入会できます。

申込み

申込用紙にご記入の上、FAX またはメールにてお送りのうえ、同封の郵便振替用紙にてご入金ください。